

宗内寺院紹介 **25**

龍智山 常光院



長承元年（一一三三）藤原鎌足十六代目の常光公が、武蔵国司として当地へ下向し、中條の地名を姓として土着、館を構え政務に精励した。孫の家長公は若くして源頼朝の信任厚く、貞永式目制定に参画し、評定衆として鎌倉に移住の折、自らの館を寺とし、比叡山より金海法印を迎え建久三年（一一九二）開基した。徳川幕府に至り、十萬石の寺格を授かり、寛永寺の伴頭寺とされる。元禄五年（一八九二）再建の書院造り茅葺き一五〇坪の本堂、元禄十五年（一八九七）の客殿兼庫裏他、鐘樓堂・山門・通用門などほとんどが江戸時代の建立。県指定中條氏館跡・ふるさとの森の境内には、数々の句碑があり、厄除大師、俳句寺として親しまれている。昨年指定された重文阿弥陀来迎図他、多数の文化財も所有している。

龍智山 常光院

住所／〒360-0001 埼玉県熊谷市上中条1160
電話番号／048-522-4048